

## 第 1 班

1. タイトル：博物館の評価手法について
2. 報告書の概要：博物館のような文化施設においても、自治体の財政状況の悪化を契機とし客観的な評価を行う必要が生じている。しかし、評価実施率は50%程度に留まり、「評価手法が分からない」「評価指標が設定できない」等、博物館が苦慮している状況であることから、取り組みやすく、館の運営目的に即し、信頼性の高い評価を可能とするため、次の提言を行った。
  - ① 館の目的に応じた評価項目のパッケージ化
  - ② アウトカム指標の設定
  - ③ 評価を充実させるアンケート手法
3. 引用している事例：③山梨県立博物館（通信簿ツアー）
4. アンケート調査の有無：有